

令和 7 年10月16 日(木)

小金井市立小金井第二中学校
令和 8 年度(2026 年)入試用

第2回進路説明会資料



3年 組 番 氏名()

目次

1. 都立高校の入試概要

【1】推薦入試について	1
(1) 応募資格 (2) 出願方法 (3) 出願手続 (4) 検査等の実施 (5) 選考	
【2】学力検査に基づく選抜 (第一次募集)	5
(1) 募集人員 (2) 出願方法 (3) インターネット出願手続 (4) 自己PRカード (5) 書類の提出方法 (6) 受験票の交付 (7) 志願の変更 (8) 志願変更のできない場合 (9) 志願変更の手続 (10) 学力検査等の実施 (11) 集合時刻及び時間割 (12) 問題作成 (13) エンカレッジスクールとして指定された都立高校の選考の基本方針	
【3】学力検査に基づく選抜 (第二次募集・分割後期募集)	9
(1) 出願手続 (2) 志願の変更 (3) 志願変更の手続 (4) 学力検査等の実施	
【4】通信制課程における選抜	12
【5】インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する措置について	15
【6】調査書について	16
(1) 成績について (2) 総合的な学習の時間の内容及び評価 (3) 諸活動の記録 (4) 調査書記載事項の通知	
【7】その他(都立入試における変更点・留意点等)	17
(1) インターネット出願について (2) スピーキングテストについて (3) 出願資格について (4) 受検上の配慮について	

2. 私立高校の入試概要

【1】入試日程	22
(1) 単願推薦について (2) 一般入試について (3) 私立高校入試留意点	
【2】入試形態	22
【3】入試概要	23
【4】高等専門学校・企業内学校・高等専修学校・通信制高校とサポート校・就職について	25

3. 資料等

【1】本校の推薦基準について	26
【2】都立高校用調査書 見本	27
【3】自己PRカード 見本	28
【4】単願推薦、併願優遇願 (昨年度の例)	29
【5】参考資料(東京都教育委員会ホームページより)	30

1. 都立高校の入試概要

【1】推薦入試について

〔推薦に基づく選抜の日程〕一般推薦・特別推薦（文化・スポーツ）・特別推薦（理数）

事 項	日	時
出 願	インターネットを活用した出願（以下「インターネット出願」という。）を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等の追跡可能かつ対面で受け渡される方法により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和7年12月19日（金）から令和8年1月16日（金）午後5時まで ※ 入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に志願者情報等を入力することができる期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。 〔書類提出期間〕令和8年1月9日（金）から1月16日（金）まで（必着） ※ 書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を志願先の都立高校へ提出する期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。	
検 査	令和8年1月26日（月） 1月27日（火）	
合 格 者 の 発 表	令和8年2月 2日（月）	午前8時30分（インターネット上の合否照会サイト（以下「合否照会サイト」という。）で発表） 午前9時30分（校内掲示）
合格者の入学手続	令和8年2月 2日（月） 2月 3日（火）	午前9時30分～午後3時30分 午前9時～正午
選抜用評定等確認表の送付期限	令和8年3月3日（火）から3月9日（月）までに、別表12の中学校の校長へ各都立高校の校長が発送する。	

★対象学科および募集人員 ※「令和8年度都立高等学校第一学年生徒募集人員」による

(1) 応募資格

次の①～③までのすべてに該当し、**志願する都立高校を第1志望とする者**

① 令和8年3月に、東京都内の中学校を卒業する見込みの者

② 以下による者

ア 一般推薦

一般推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた者

イ 特別推薦（文化・スポーツ）

特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた者

ウ 特別推薦（理数） ※実施校…立川高校：創造理数科、科学技術高校：創造理数科

特別推薦（理数）に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた者

③ 保護者と同居している者で、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者

(2) 出願方法

① 一般推薦

志願者は、1校1コースまたは1科（1分野）に限り出願する。志願変更はできない。

志願する同一の都立高校内にある同一の学科内に2科（2分野）以上ある場合（芸術に関する学科を除く。）は、第2志望として他の1科（1分野）に限り指定することができる。ただし、同一の都立高校内に、「普通科」と「コース」または「農業科」と「家庭科」等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定することはできない。

（例1）第1志望を八王子桑志高校の産業科のデザイン分野とした場合、同じ学科のクラフト分野を第2志望に指定することができる。

（例2）第1志望を松が谷高校の外国語コースとした場合、普通科を第2志望に指定することはできない。

（例3）第1志望を瑞穂農芸高校の農業に関する学科の園芸科学科とした場合、同じ学科の畜産科学科を第2志望に指定することはできるが、家庭に関する学科の生活デザイン科を第2志望にすることはできない。

（例4）第1志望をエ芸高校の工業に関する学科のマシクラフト科とした場合、同学科のアートクラフト科を第2志望にすることができる。

②特別推薦（文化・スポーツ）

志願者は、特別推薦を実施する都立高校の種目等のうちから1種目を指定し、1コース又は1科（分野）に限り出願する。志願変更はできない。また、**当該都立高校の一般推薦にも併せて出願することができる。**その場合、入学考査料を2回分支払う必要がある。

③特別推薦（理数）

志願者は1校1科に限り出願する。志願変更はできない。また、**他の推薦に基づく選抜に出願はできない。**

（3）出願手続

志願者の手続は、以下を志願する都立高等学校長に提出する。

① 一般推薦

- （i）入学願書（インターネットの専用サイトから必要事項を入力し、申請する。）
- （ii）調査書
- （iii）一般推薦書
- （iv）自己PRカード
- （v）入学考査料 全日制2,200 円

※出願サイト上での決済、もしくは金融機関窓口で納入し、領収証書を出願サイトにアップロードする。

② 特別推薦（文化・スポーツ）

- （i）入学願書（インターネットの専用サイトから必要事項を入力し、申請する。）
- （ii）調査書
- （iii）文化・スポーツ等特別推薦書
- （iv）自己PRカード
- （v）入学考査料 2,200 円

※出願サイト上での決済、もしくは金融機関窓口で納入し、領収証書を出願サイトにアップロードする。

※一般推薦を同時に志願する場合は、一般推薦の出願にも入学考査料が必要となる。（合計で 4,400 円）

※一般推薦を同時に志願する者であっても、調査書及び自己PRカードは1部のみの提出となる。

③ 特別推薦（理数）

- （i）入学願書（学校所定の様式）
※インターネット出願では、出願サイトに志願者情報を入力する。
- （ii）調査書
- （iii）理数等特別推薦書（学校所定の様式）
- （iv）自己PRカード
- （v）科学分野等の研究に関するレポート（A4 版2枚以内、様式任意）
- （vi）入学考査料 2,200 円

※出願サイト上での決済、もしくは金融機関窓口で納入し、領収証書を出願サイトにアップロードする。

(4) 検査等の実施

① 検査内容

(i) 一般推薦および特別推薦(文化・スポーツ)

志願者全員に個人面接を実施する。集団討論を実施する学校もある。また、小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施する。特別推薦の志願者全員に、「個人面接または集団討論」および「実技検査」を実施し、その他の検査内容については、当該都立高校長が定める。

※ 集団討論は日比谷高校、竹早高校、鷺宮高校、西高校、北園高校、調布南高校の6校で実施する。

(ii) 特別推薦(理数)

科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、個人面接および小論文の検査を実施する。

(5) 選考

「一般推薦の選考の基本方針」

- ① 選考は各高校があらかじめ定めた選考方法に基づき、調査書、個人面接(集団討論を実施する学校は集団討論を含む)、小論文又は作文等の検査を総合した成績、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料(自己PRカードを含む)により行う。

(令和8年度入試の例:昭和高校 調査書500点、個人面接 200 点、小論文300 点)

- ② 全ての都立高校で、調査書における各教科の観点別学習状況の評価(全27観点)または評定(9教科)のどちらか一方を調査書点として点数化する。ただし、エンカレッジスクールとして指定された都立高校は、観点別学習状況の評価を用いる。調査書点の上限は総得点の50%となる。

- (i) 観点別学習状況の評価(全27観点)を用いる場合は、各都立高校の特色に応じて特定の観点の配点を高くするなどして活用する。
- (ii) 評定を用いる場合は、各教科の評定に比重をかけることは行わない。
- (iii) 観点別学習状況の評価や評定の欄に斜線／のある調査書の各教科の学習の記録の処理方法については、各都立高校が適切に定める。
- (iv) 自己PRカードは点数化しない。自己PRカードは面接資料として活用する。
- (v) 個人面接、小論文又は作文等の検査については、各都立高校が適切に基準を定めてそれぞれ点数化する。

「特別推薦(文化・スポーツ)の選考の基本方針」

- ① 選考は、各都立高校があらかじめ定めた選考方法に基づいて行う。
- ② 選考に当たっては、各都立高校が自校の教育活動の実績や特色などに基づいて適切な基準を定める。
個人面接または集団面接および実技検査のほか、小論文または作文等の検査を適宜組み合わせ、選考資料として用いる。(令和8年度入試の例 杉並高校:硬式野球4人、調査書500点、集団面接200点、実技300点)
- ③ 調査書における各教科の観点別学習状況の評価または評定の扱いは、一般推薦の扱いと同様に各都立高校が適切に定める。
- ④ 受検者のうち各都立高校が定めた基準に達していると認められた者の中から合格候補者を決定する。

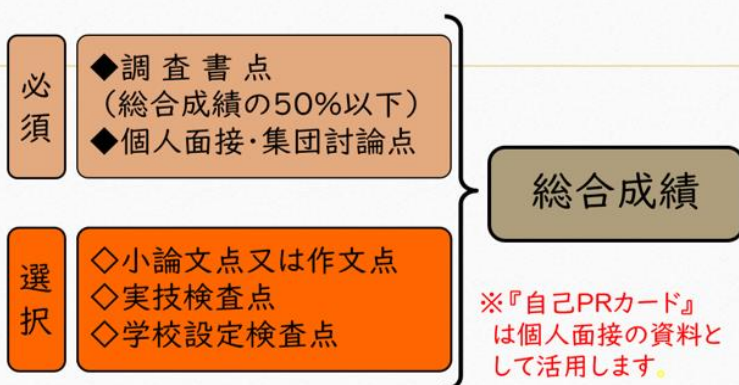
「特別推薦（理数）の選考の基本方針」

- ① 選考は、各都立高校があらかじめ定めた選考方法に基づいて行う。
- ② 選考に当たっては、各都立高校が自校の教育活動の実績や特色などに基づいて適切な基準を定める。個人面接および科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、小論文の検査を組み合わせ、選考資料として用いる。なお、自己PRカードは面接資料として活用される。
- ③ 調査書における各教科の観点別学習状況の評価または評定の扱いは、一般推薦の扱いと同様に各都立高校が適切に定める。
- ④ 受検者のうち各都立高校が定めた基準に達していると認められた者の中から合格候補者を決定する。

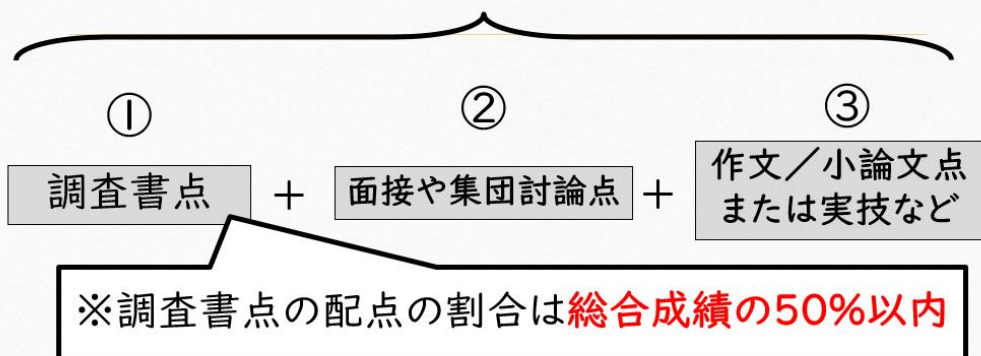
都立高校の推薦入試の応募状況

令和7年度の普通科の推薦入試における倍率は、2.61倍（コース制・単位制除く）でした。この数値からもわかるように、推薦入試は狭き門です。また、すべての学校で、作文・小論文・実技検査のいずれか一つと個人面接が義務付けられており、入念な準備が必要となり、時間と労力がかかります。しかし、推薦入試は合格が約束されるものではありません。だからこそ、不合格だったときの場合を考え、推薦入試と並行して、一般入試に向けた学力の維持・向上にも継続して取り組むことが必要です。そして、推薦入試に不合格だった場合、3週間後の一般入試に向けて気持ちを切り替え、最後まで努力し続ける覚悟も大切です。そのことを踏まえ、自らの責任で推薦入試受検について意思決定してください。

都立 推薦入試の選考方法



都立推薦入試について 総合成績(合計点)



【2】学力検査に基づく選抜（第一次募集）

[第一次募集]

事項		日時
出願		インターネット出願を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 [入力期間] 令和7年12月19日（金）から令和8年2月5日（木）午後5時まで [書類提出期間] 令和8年1月30日（金）から2月5日（木）まで（必着）
志願変更 （注1）	入学願書取り下げ	令和8年2月12日（木）午前9時～午後3時
	入学願書再提出	令和8年2月13日（金）午前9時～正午
学力検査及び面接		令和8年2月21日（土）集合 午前8時30分
面接及び実技検査等		令和8年2月21日（金）以後、各都立高校が定める日時
合格者の発表		令和8年3月2日（月） （全日制）午前8時30分（合否照会サイト上で発表）、午前9時30分（校内掲示） （定時制）午前8時30分（合否照会サイト上で発表）、午後4時（校内掲示）
合格者の入学手続き		令和8年3月2日（月） （全日制）午前9時30分～午後3時30分 （定時制）午後4時～午後8時 令和8年3月3日（火） （全日制）午前9時～正午 （定時制）午後4時～午後8時

※1 志願変更には、制限がある。（次ページを参照）

※2 令和8年度より分割前期募集の実施は昼夜間定時制高校のみ

（1）募集人員

募集人員は、「令和8年度都立高等学校等第一学年生徒 募集人員」に定めます。

（2）出願方法（特に注意すること）

志願者は、1校1コース又は1科（1分野）に限り出願する。ただし、志望する同一の都立高校内にある同一の学科内に2科（2分野）以上ある場合（芸術に関する学科を除く）は、他の全ての科（分野）に志望順位を付けて出願することができる。

（3）インターネット出願手続（出願者個人で必要な手続き）

①入学願書（インターネットの専用サイトから必要事項を入力し、申請する。）

②入学考査料 全日制：2,200円 定時制：950円

（出願サイト上での決済、もしくは金融機関窓口で納入し、領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。）

（4）自己PRカード（志願者が作成する） ※試験当日に面接試験のある学校のみ。

令和8年度より、面接試験のない学校では、自己PRカードの提出は不要となった。

(5) 書類の提出方法

- ①都内の中学校に在学している志願者は、インターネット上で出願に必要な内容の入力を行い、中学校長の承認を経て、入学願書の提出を行う。出願に要する書類を、中学校を通じて、書類提出期間内に必着するよう、都立高校長宛てに送付する。
- ②願書提出後の出願サイトへの入力内容及びその他出願に要する書類に係る記載事項の変更はできない。

(6) 受検票の交付・・・出願サイト上で、志願者の入学願書等を受け付けた都立高校長が受検票を交付する。

(7) 志願の変更

願書提出後、1回に限り志願の変更をすることができる。

ただし、入学願書の返却を受けた都立高校の同一のコース及び科(分野)に再提出することはできない。

また、同一の都立高校内にある同一学科内の科(分野)相互間の志望順位の変更もできない。

〈志願変更ができる例〉

(例1) 八潮高校普通科に出願後、異なる学科である芝商業高校のビジネス科へ志願変更をすることができる。

(その逆も可能)

(例2) 富士森高校の普通科に出願後、コースを置く片倉高校の造形美術コースへ志願変更をすることができる。

(その逆も可能)

(例3) 国際高校の国際学科に出願後、コースを置く小平高校の外国語コースへ志願変更をすることができる。

(その逆も可能)

(例4) コースを置く深川高校の外国語コースに出願後、同じ深川高校の普通科へ志願変更をすることができる。

(その逆も可能)

(例5) 農業高校の農業に関する学科の食品科学科に出願後、同じ農業高校の家庭に関する学科の食物科へ志願変更をすることができる。(その逆も可能)

※農業高校には「農業に関する学科」と「家庭に関する学科」の両方がある。

農業科と家庭科は、違う学科なので、志望の変更ができる。

再提出 取下げ			全 日 制	定 時 制		
				定 時 制 単 位 制		定時制 単位制以外
				チャレンジスクール(注1) 八王子拓真チャレンジ校 グループA(注2)	グループB (注3)	
全 日 制			○	×	×	×
定 時 制	定 時 制 単 位 制	チャレンジスクール(注1) 八王子拓真高校(チャレンジ校) グループA(注2)	○	○	×	×
		グループB(注3)	×	×	×	×
		定時制単位制以外	×	×	×	×

(注1) チャレンジスクールとは六本木高校・大江戸高校・世田谷泉高校・稔ヶ丘高校・桐ヶ丘高校・小台橋高校及び立川緑高校を意味する。

(注2) グループAとは一橋高校・浅草高校・荻窪高校・八王子拓真高校(一般校)・砂川高校を意味する。

(注3) グループBとは新宿山吹高校・六郷工科高校・飛鳥高校・板橋有徳高校・青梅総合高校・東久留米総合高校を意味する。

〈志願変更のできない例〉

(例1) 園芸高校の農業に関する学科の動物科を第1志望として出願後取り下げ、同じ園芸高校の農業に関する学科の食品科を第1志望として再提出することはできない。

(同一高校同一学科への再提出はできない。志望の順位の変更もできない。)

(例2) エ芸高校の工業に関する学科のアートクラフト科を第1志望として出願後取り下げ、同じエ芸高校の工業に関する学科のマシンクラフト科を第1志望として再提出することはできない。

(同一高校同一学科への再提出はできない。志望順位の変更もできない。)

(例3) エンカレッジスクールの蒲田高校に出願後取り下げ、チャレンジスクールの六本木高校に再提出することはできない。(全日制課程からチャレンジスクールへの志願変更はできない。その逆は可能。)

(8) 志願変更の手続

- ① 志願の変更をする場合は、志願変更願（様式あり）を、在学している中学校長の確認を経て、出願した都立高校長に提出し、出願に要した書類及び調査書等の返却を受ける。提出の際、生徒手帳などの本人確認ができる物を持参する。
- ② 都立高校長は、その志願者の提出した入学願書等の出願に要した書類及び中学校長から提出されたその志願者の調査書を厳封して返却し、出願管理サイトでその志願者の出願情報を取り下げる。
- ③ 面接試験のある学校へ志願の変更をする場合は、志願の変更先の都立高校が示した「本校の期待する生徒の姿」を参考にして自己PRカードを新たに作成することになる。
- ④ 志願の変更をする場合は、指定された期間内に出願サイト上で必要事項を入力し、返却された出願に要する書類に志願変更先の高等学校名等の必要な事項を記入し、厳封した調査書（都立高校から返却を受けたもの）、新たに作成した自己PRカード（面接試験のある学校のみ）を指定された日時に志願変更先の都立高校長に提出し、出願サイト上で受検票の交付を受ける。
- ⑤ 大島海洋国際高校出願の生徒は、東京都教職員研修センターで手続きを行うことができる。
- ⑥ チャレンジスクールまたは八王子拓真（チャレンジ枠）へ出願後、全日制高校へ志願変更する場合には、新たに調査書及び自己PRカード（面接試験のある学校のみ）が必要となる。
- ⑦ チャレンジスクール、八王子拓真高校（チャレンジ枠）、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）、砂川高校に出願後、全日制へ志願変更する者は、入学考査料の差額（1,250円）を再提出先の都立高校の窓口において、現金で納付する。

(9) 学力検査等の実施（検査教科等）

- ① 学力検査の教科について、全日制は、国語、数学、英語、社会、理科の5教科となる。（ただし、芸術及び体育に関する学科については、国語、数学、英語の3教科）なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校では学力検査を実施しない。定時制の一部の都立高校においては学力検査を実施する教科について、その高校が定める。
- ② 各教科の満点は100点とし、特定の教科の配点に比重をかける（以下「傾斜配点を行う」）都立高校もある。
（後日配布予定の「令和8年度東京都立高等学校募集案内」冊子の入試実施方法一覧に掲載される。）
- ③ 検査教科等のうち、1教科（面接等を含む。）でも受検しなかった者は、受検を放棄したものとみなされる。
正当な事由により、一部受検できなかった者は、受検したものとみなす。
- ④ 面接、実技検査等を行う科を第2志望以下の志望順位とした者についても面接、実技検査等を行う。

(10) 集合時刻及び時間割

① 全日制及び定時制

	開始時間～終了時間	時間	教科
集 合	午前 8時30分		
第1時限	午前 9時00分～午前 9時50分	50分	国 語
第2時限	午前 10時10分～午前 11時00分	50分	数 学
第3時限	午前 11時20分～午後 0時10分	50分	英 語
第4時限	午後 1時10分～午後 2時00分	50分	社 会
第5時限	午後 2時20分～午後 3時10分	50分	理 科

※英語学力検査の最初の10分間にリスニング検査を行う。

※国際高校及びエンカレッジスクールに指定された都立高校の時間割は、各都立高校が別途示す。

②「持ち物」受検票、鉛筆、消しゴム、**直線定規**(角度の目盛りのないもの)、**コンパス**、**弁当**、**上履き**。

※なお、直線定規については数学以外の教科で使うこともある。

時計以外の機能を備えた時計、携帯電話や腕時計型の端末などの通信機器は原則持ち込まない。

(11) 問題作成

出題の基本方針

- (i) 中学校の教育課程に基づく学習の成果としての学力を検査することを基本とし、出題の範囲は、中学校学習指導要領に示されている内容によるものとする。
- (ii) 出題の内容は、各教科とも、中学校学習指導要領に示されている教科の目標及び内容に照らして基本的な事項を選ぶとともに、一部の領域に偏ることのないようにする。
- (iii) 出題に当たっては、基礎的・基本的な知識及び技能の定着や、思考力、判断力、表現力などをみるとともに、体験的な学習や問題解決的な学習などの成果もみることができるようになる。

※**自校で問題を作成する高校がある。**

自校で作成した学力検査問題3教科(国語・数学・英語)と都立高校共通問題2教科(社会・理科)で行う。

令和8年度自校作成校・・・日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立、新宿、墨田川、国分寺

なお、国際高校については、英語の学力検査問題のみを自校で作成している。また、一部の定時制高校でも、自校で作成した問題により入試を行っている。(農産、八王子拓真[一般枠])

(12) エンカレッジスクールとして指定された都立高校の選考の基本方針

選考は、調査書、面接、小論文または作文(実技検査を実施する学校もある)の結果を点数化し、総合した成績、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料により行う。なお、自己PRカードは面接資料として活用される。

【3】学力検査に基づく選抜（第二次募集・分割後期募集※）

〔全日制第二次募集・分割後期募集〕

事 項		日 時
出 願		令和 8 年 3 月 5 日（木） 午前 9 時～午後 3 時
志 願 変 更	願書取下げ	令和 8 年 3 月 6 日（金） 午前 9 時～午後 3 時
	願書再提出	令和 8 年 3 月 9 日（月） 午前 9 時～正 午
学力検査		令和 8 年 3 月 10 日（火） 集合 午前 8 時 30 分
面接及び実技検査等		令和 8 年 3 月 10 日（火） 以後、各都立高校が定める日時
合格者の発表		令和 8 年 3 月 13 日（金） 午前 8 時 30 分（合否照会サイト） 正 午（校内掲示）
合格者の入学手続		令和 8 年 3 月 13 日（金） 正 午～午後 3 時 令和 8 年 3 月 16 日（月） 午前 9 時～正午

※分割後期募集を実施する学校は、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校

〔定時制第二次募集日程〕

事 項		日 時
出 願		令和 8 年 3 月 23 日（月） 午後 3 時から午後 7 時
学 力 検 査		令和 8 年 3 月 26 日（木） 集合 各都立高校が定める時刻
合格者の発表		令和 8 年 3 月 27 日（金） 午前 8 時 30 分（合否照会サイト） 午後 3 時（校内掲示）
合格者の入学手続		令和 8 年 3 月 27 日（金） 午後 3 時から午後 7 時 令和 8 年 3 月 30 日（月） 午後 3 時から午後 7 時

今年度から定時制高校の志願変更は行えない。

インターネット出願及び郵送による出願は受け付けない。出願は原則書類持参。

（1）出願手続

全日制の入学願書は、分割後期募集・全日制第二次募集用を用い、定時制の入学願書は、定時制第二次募集用を用いる。（入学考査料は納付書による納付を行う。）

（2）志願の変更

①分割後期募集・全日制第二次募集における志願変更は次の表の○を付した変更について、1 回限り行うことができる。

再 提 出 取 下 げ			全 日 制	定時制単位制
				チャレンジスクール（注 1） 八王子拓真チャレンジ 枠 およびグループ A（注 2）
全 日 制			○	×
定 時 制	単 位 制	チャレンジスクール（注 1）、 八王子拓真チャレンジ 枠 グループ A（注 2）	○	○

（注 1）チャレンジスクールとは六本木高校・大江戸高校・世田谷泉高校・穂ヶ丘高校・桐ヶ丘高校・小台橋高校・立川緑高校の 7 校をいう。

（注 2）グループ A とは一橋高校・浅草高校・荻窪高校・八王子拓真高校（一般枠）・砂川高校の 5 校をいう。

「志願の変更」の例

- (例1) 深川高校の普通科を第1志望、外国語コースを第2志望として出願後取り下げ、松が谷高校の外国語コースを第1志望、普通科を第2志望として志願変更できる。
- (例2) 農業高校の服飾科を第1志望、都市園芸科を第2志望、食物科を第3志望として出願後取り下げ、多摩工科高校の機械科を第1志望、環境化学科を第2志望として志願変更できる。

ただし、次の都立高校へは入学願書の再提出はできない。

- ・入学願書の返却を受けた学校。
- ・大島海洋国際高校を除く島しょの都立高校(ただし、大島高校と大島海洋国際高校間の志願変更はできる。)

②定時制第二次募集における志願変更

今年度から志願変更不可。

(3) 志願変更の手続

- ①志願の変更をする場合は、志願変更願(様式あり)を、在学している中学校長の確認を経て、出願した都立高校長に提出し、出願に要した書類及び調査書等の返却を受ける。
- ②都立高校長は、その志願者の提出した入学願書等の出願に要した書類及び受検票並びに、中学校長から提出されたその志願者の調査書を厳封して返却する。
- ③面接試験のある学校へ志願の変更をする場合は、志願の変更先の都立高校が示した「本校の期待する生徒の姿」を参考にして自己PRカードを新たに作成する。
- ④志願の変更をする場合は、返却された入学願書等に志願変更先の高等学校名等の必要な事項を記入し、受検票、厳封した調査書及び新たに作成した自己PRカードを指定された日時に志願変更先の都立高校長に提出し、受検票の交付を受ける。
- ⑤チャレンジスクールおよび八王子拓真(チャレンジ枠)へ出願後、全日制高校へ志願変更する場合には、新たに調査書及び自己PRカード(面接実施校の志願者のみ)を提出する。
- ⑥チャレンジスクール、八王子拓真高校(チャレンジ枠)、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校(一般枠)、砂川高校に出願後、全日制へ志願変更する者は、入学考査料の差額(1,250円)を再提出先の都立高校の窓口において、現金で納付する。

(4) 学力検査等の実施

全日制第二次募集は、国語、数学及び英語の3教科で実施する。

定時制第二次募集は、国語、数学、外国語(英語)、社会、理科のうち、3科目を下らない範囲で、各都立高校が定める。また、面接を実施します。

その他、検査実施内容は、各都立高校が定める。

- ・1教科でも受検できなかった場合には、受検を放棄したものとみなされる。
- ・面接、実技検査等を行うコース及び科(分野)を第2志望以下の志望順位とした者についても、面接、実技検査等を行う。
- ・エンカレッジスクールとして指定された都立高校においては、学力検査を実施しない。

①全日制 学力検査の時間割

	開始時刻～終了時刻	時間	教科
集 合	午前 8時30分		
第1時限	午前 9時00分～午前 9時50分	50分	国 語
第2時限	午前10時10分～午前11時00分	50分	数 学
第3時限	午前11時20分～午後 0時10分	50分	英 語

ただし、エンカレッジスクールに指定された都立高校の時間割は、各都立高校が定める。
 定時制の集合時刻および時間割は、各都立高校が定める。

②問題作成

全日制…第一次募集に準じて作成される。(共通問題)

定時制…第二次募集は、自校作成問題。

【4】通信制課程における選抜

〔前期選抜日程〕

事 項	日	時
出 願	インターネットを活用した出願（以下「インターネット出願」という。）を行い、かつその他出願に要する書類については、下記書類提出期間必着で、各都立高校に簡易書留郵便等により郵送したものを受け付ける。 [入力期間] 令和7年12月19日（金）から令和8年2月 5日（木）午後5時まで ※ 入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイト（以下「出願サイト」という。）に志願者情報等を入力することができる期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。 [書類提出期間] 令和8年1月30日（金）から2月 5日（木）まで（必着） ※ 書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を志願先の都立高校へ提出する期間のことである。以下、本実施要綱において同じ。	
検 査	令和8年2月22日（日）	（新宿山吹・砂川） 集合 午前8時30分 （一橋） 集合 午前9時
合 格 者 の 発 表	令和8年3月 2日（月）	午前8時30分（インターネット上の合否照会サイト（以下「合否照会サイト」という。）上で発表） 午前9時30分（校内掲示）
合格者の入学手続	令和8年3月 2日（月） 3月 3日（火）	午前9時30分～午後3時30分 午前9時 ～ 正午

※通信制課程を設置する都立高等学校は一橋高校、新宿山吹高校及び砂川高校である。

(1) 募集人員

募集人員は、「令和8年度都立高等学校等第一学年生徒 募集人員」に定める。

（10月下旬以降に東京都教育委員会のホームページにも掲載される。）

※該当都立高校が実施する面接指導（スクーリング）に出席できる必要がある。

(2) インターネット出願手続（出願者個人で必要な手続き）

①入学願書（インターネットの専用サイトから必要事項を入力し、申請する。）

②入学考査料 全日制：950円

（出願サイト上での決済、もしくは金融機関窓口で納入し、領収証書を出願サイトにアップロードする。）

(3) 自己PRカード（志願者が作成する）＊試験当日に面接試験のある学校のみ。

令和8年度より面接のない都立高校へは自己PRカードの提出は不要となった。

(4) 書類の提出方法

①都内の中学校に在学している志願者は、インターネット上で出願に必要な内容の入力および写真が本人のものであること、志願しようとする都立高校への応募資格があることを中学校長が確認し、中学校長の承認を得る。
都立高校長宛てに、出願に要する書類を、中学校を通じて、書類提出期間内に必着するよう、送付する。

②願書提出後、出願サイトへの入力内容及びその他出願に要する書類に係る記載事項の変更は認められない。

(5) 受検票の交付 志願者の入学願書等を受け付けた都立高校長は、出願サイト上で受検票を交付する。

(6) 学力検査等の実施(検査教科等)

学力検査の教科について、全日制は、国語、数学、英語の3教科で実施する。

<新宿山吹高校>

国語、数学及び外国語(英語)を総合して70分で行う。

<一橋高校及び砂川高校>

国語、数学及び外国語(英語)を総合して60分で行う。

(7) 集合時刻及び時間割

各都立高校が定める。

(8) 問題作成

自校で作成した学力検査問題で行う。

〔後期選抜日程〕

	出 願	学 力 検 査	合 格 者 の 発 表	入 学 手 続
一 橋	令和8年4月1日(水) 4月2日(木) 午前10時～午後3時	令和8年4月5日(日) ・第1学年相当 集合 午前9時 ・第2学年相当以上 集合 午前11時30分	令和8年4月10日(金) ・第1学年相当 午前9時 ・第2学年相当以上 午後1時	令和8年4月10日(金) ・第1学年相当 午前9時～正午 ・第2学年相当以上 午後1時～午後3時 令和8年4月11日(土) 午前9時～正午
新 宿 山 吹	令和8年4月1日(水) 4月2日(木) 午前9時～午後3時	令和8年4月6日(月) ・第1学年相当 集合 午前8時40分 ・第2学年相当以上 集合 午前10時40分	令和8年4月10日(金) 午前9時	令和8年4月10日(金) ・第1学年相当 午前9時～正午 ・第2学年相当以上 午後1時～午後3時 令和8年4月11日(土) 午前9時～正午
砂 川	令和8年4月1日(水) 4月2日(木) 午前9時～午後3時	令和8年4月4日(土) ・第1学年相当 集合 午前8時40分 ・第2学年相当以上 集合 午前10時40分	令和8年4月10日(金) ・第1学年相当 午前9時 ・第2学年相当以上 午後1時	令和8年4月10日(金) ・第1学年相当 午前9時～正午 ・第2学年相当以上 午後1時～午後3時 令和8年4月11日(土) 午前9時～正午

※複数の通信制課程の都立高校に合格した場合、合格した通信制課程の都立高校のうち1校に限り、入学手続きをすることができる。

(1) 募集人員

募集人員は、「令和8年度都立高等学校等第一学年生徒 募集人員」に定める。

(10月下旬以降に東京都教育委員会のホームページにも掲載される。)

※該当都立高校が実施する面接指導(スクーリング)に出席できる必要がある。

(2) 出願手続

全日制の入学願書は、分割後期募集・全日制第二次募集用を用い、定時制の入学願書は、定時制第二次募集用を用いる（入学考査料は納付書による納付）。インターネット出願及び郵送による出願は受け付けない。
出願は原則書類持参。

(3) 学力検査等の実施（検査教科等）

学力検査の教科について、全日制は、国語、数学、英語の3教科で実施する。

＜新宿山吹高校＞

国語、数学及び外国語(英語)を総合して70分で行う。

＜一橋高校及び砂川高校＞

国語、数学及び外国語(英語)を総合して60分で行う。

(4) 集合時刻及び時間割

各都立高校が定める。

(5) 問題作成

自校で作成した学力検査問題で行う。

[5] インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する措置について

第一次募集において、インフルエンザ等に罹患した者、学校保健安全法第19条により中学校長が出席停止の措置を行った者及び月経随伴症状、痂瘻被害等受検者本人の責めによらず、やむを得ない入院等で、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者に対して、追検査を実施する。措置を希望する場合は、中学校長を経由して、令和8年2月25日(水)午後5時までに、インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する措置申請書により第一次募集において出願した都立高校長に申請する。

なお、追検査は、第一次募集を実施する都立高校(島しょの都立高校を含む全日制課程及び定時制課程)において実施する。分割募集を実施する都立高校においては、追検査を実施しない。

学校感染症等で検査を欠席した場合の申請について

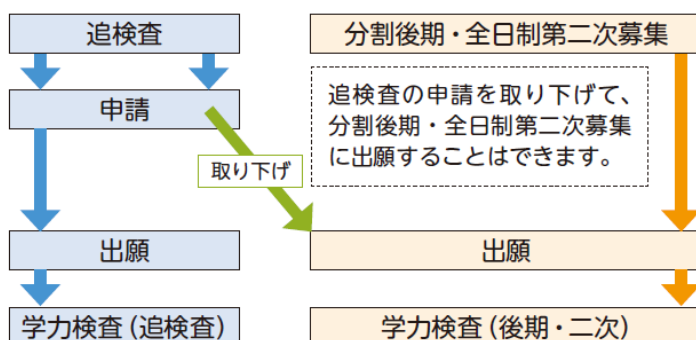
- 学校感染症の罹患等により検査を欠席した場合で、追検査を希望するときは、中学校の先生に連絡し、相談してください(在籍する中学校から受検する高校へ欠席の連絡をすることになっています)。
- 中学校に連絡した後、速やかに追検査の措置申請書を中学校の先生にも確認してもらい、出願した高校へ提出します。なお、既に中学校を卒業している人は、欠席の連絡と追検査の措置申請書の提出は、本人又は保護者が直接出願した高校に行います。
- 出願日に、入学願書等のほか、医療機関の証明書(罹患証明書等)又は中学校長が出席停止の措置を行ったことを証明する書類を高校へ提出します。

追検査の日程

- 追検査は、分割後期募集・全日制第二次募集と同じ日程で実施します。

- 追検査に申請した人は、申請を取り下げて分割後期募集や全日制第二次募集に出願することはできませんが、追検査か分割後期募集・全日制第二次募集かのどちらか一方にしか出願できません。また、分割後期募集・全日制第二次募集に出願後、申請を取り下げて追検査に再提出することもできません。

＜追検査実施の流れ＞



追検査での検査内容

- 追検査では、国語・数学・英語の3教科の学力検査と、各学校で定める検査を組み合わせ実施します。各学校で定める検査内容については、中学校の先生又は都立高校に確認してください。
- 追検査で使用する学力検査問題は、分割後期募集・全日制第二次募集と同一のようになります。

- ・追検査では、第一次募集において、第一志望とした科(分野)又は部に限り出願することができる。
- ・追検査に出願した者は、分割後期募集・全日制第二次募集に出願することはできず、志願変更もできない。
- ・出願時の入学願書は指定用紙を用いる。納付書裏面に記載された、所定の納付場所で納付した入学考査料の領収証書を入学願書の裏面に貼り付ける。郵送による出願は原則受け付けない。(全日制 2,200 円、定時制 950 円)
- ・出願の際に、医療機関の証明書、中学校長が出席停止の措置を行ったことについて証明する書類または発熱があったことについて中学校長が証明する書類(いずれか1通。様式は任意)を添付し、入学願書と併せて当該都立高校に提出する。

【5】調査書について

(1) 成績について

高校に提出する成績一覧表に記載される成績は、観点別学習状況の評価を総括した評定になる。成績一覧表に記載する予定の第3学年の第1学期および第2学期を通じた総合的な評定を2学期の通知表に記載する。1月初旬の成績一覧表調査委員会を経て決定となるため、**最終的な評定は、1月15日(木)までにそれぞれの生徒の保護者に配布する「調査書記載事項通知書」で伝える。**

◇出席日数が少ないため、参考にしてできる資料等を活用しても観点別学習状況の評価を行うことができない場合、また、評定を行うことができない教科がある場合は調査書所定の欄のうち記入できる事項についてのみ記入し、その旨を明らかにした理由書(中学校所定)を提出することになる。

(2) 総合的な学習の時間の内容及び評価

①中学校第3学年における総合的な学習の時間で設定した課題及び内容を記入します。

②学習状況及び成果を評価し、文章で記入します。

(例) 課題を「地域の未来を考える」と設定し、住みよい地域社会づくりの視点から資料収集・調査活動等を行い、地域の方々を招いて成果を発表した。課題を発見する能力、分かりやすくまとめる力、発表での表現力が向上した。

(3) 諸活動の記録

特別活動等並びにその他の学校内外の活動のうちから、当該志願者において特筆すべき活動を取り上げ、その活動の事実や実績を、所見を除いた客観的な記録として記入する。

なお、「諸活動の記録」の記入に当たっては、学級担任、教科担任の意見のみでなく、関係教職員の意見等を総合して記入し、校長が確認する。また、顕著な成果のある活動だけでなく、次のような活動についても記入することができる。

ア) 当該志願者が積極的な態度や意欲をもって取り組んでいる活動

イ) 当該志願者の人間形成上好ましい影響のある活動や他の生徒に好ましい影響を与えている活動

ウ) 当該志願者の中学校3年間における継続的な活動又は各学年における特筆すべき活動

(例)

- ・図書委員として「図書だより」の作成を担当(第3学年)
- ・テニス部員として区大会新人戦で3位入賞(第1学年)
- ・〇〇検定〇級を取得(第3学年)(実用英語技能検定、日本漢字能力検定など)
- ・高齢者福祉施設を定期的に訪問(第1学年～第3学年)

(4) 調査書記載事項の通知

成績一覧表を作成した中学校長は、それに記載した各教科の観点別学習状況の評価及び評定に加え、総合的な学習の時間の内容及び評価、諸活動の記録等が記載された調査書の内容について、1月15日(木)までにそれぞれの生徒の保護者に通知する。

ただし、都立高等学校を受検する予定のない場合は調査書記載事項通知書における総合的な学習の時間の内容及び評価、諸活動の記録の欄は斜線でもよいことになっている。

【6】その他（都立入試における変更点・留意点等）

（1）インターネット出願について

①入学願書等提出方法

- ・推薦に基づく選抜及び学力検査に基づく選抜（第一次募集）では、全校でインターネット出願が実施される。合否結果についても、合否照会サイトで確認できます。
- ・令和7年12月19日（金）からインターネット上の専用サイトに必要事項を入力できる。
- ・出願に要する書類は、中学校を通じて志願先の都立高校に送付する。
- ・出願サイト上で受検票が交付される。※やむを得ず、インターネット出願が出来ない場合は、紙でも出願できる。

②インターネット出願の流れ（「R8年度 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」より）

インターネット 出願サイトにアクセス	出願サイトにアクセスし、ユーザIDを取得します。
顔写真の登録	顔写真データ（JPEG形式又はPNG形式）を用意し、出願サイトで顔写真を登録します。
志願者情報の入力	志願者氏名、生年月日、中学校名、保護者名、現住所等を入力します。
出願情報の承認 （中学校が行う）	中学校で出願情報の確認を行い、必要に応じて修正します。 内容に問題がなければ中学校が承認します。 ※都外の中学校等に在学している場合や、中学校等に在学していない場合は、この承認手続はありません。
入学考査料の支払い	中学校から出願の承認を受けたら、入学考査料の支払いの手続きができるようになります。 クレジットカード、コンビニエンスストア、pay-easyによる支払い、納付書による支払いのいずれかを選択して支払います。
提出書類の郵送	【都内の中学校等に在学している場合】 出願に必要な書類は <u>在学している中学校</u> から都立高校へ、郵送により提出します。 【都内の中学校等に在学していない場合】 出願に必要な書類は <u>志願者本人（又は保護者）</u> から都立高校へ簡易書留郵便等により直接送付します。
取下げ・再提出 （必要な場合のみ）	※志願を取り下げた都立高校への再提出はできません。
受検票の ダウンロード・印刷	都立高校で出願書類等の確認を行い、書類不備等がなければ受検票をダウンロードできるようになります。 受検票はご家庭のプリンターやコンビニエンスストア等で印刷してください。
入 試	検査日当日は、印刷した受検票を必ず持参してください。
合格発表	専用の合否照会サイトで、合否照会を行います。 合否の照会には、受検番号とパスワードが必要です。

※出願に際し、インターネットに接続できる環境（パソコン・スマートフォン・タブレット端末）が必要となります。

※事情があり、インターネット出願を行えない方については、別途対応をご案内します。

※本ページの記載は、令和7年度入試の内容に基づくものであり、今後変更が生じる可能性があります。

(2)スピーキングテストについて

○都立高校入試では、中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J YEAR3)の結果を活用する。

①スピーキングテスト結果の都立高校への提出について

中学校は、スピーキングテスト結果として提供を受けた6段階の評価を、生徒の調査書に記載する。

調査書は、生徒の志願先の都立高校へ提出する。

②今後の流れ

11月上旬	中学校から「受験票」を受け取る。
11月10日(月)以降	中学校から「受験の手引き」を受け取る。(試験当日の詳細はこちらを参照)
11月23日(日)	指定された会場で受験する。(本試日) 〈予備日…12月15日(日)〉(追試験)
1月7日(水)	「保護者用マイページ」または「生徒用マイページ」で、ESAT-J YEAR3の結果を確認する。〈予備日に追試験を受験した場合は、1月23日(金)〉
1月中旬以降	ESAT-J YEAR3の結果(個人レポート)が中学校に発送される。
2月上旬	都立高校へ調査書を提出する。

③スピーキングテスト結果の都立高校入試における活用区分について

スピーキングテスト結果は、第一次募集において活用する。

(推薦に基づく選抜や、エンカレッジスクール、チャレンジスクール、英語学力検査を実施しない学校は対象外)

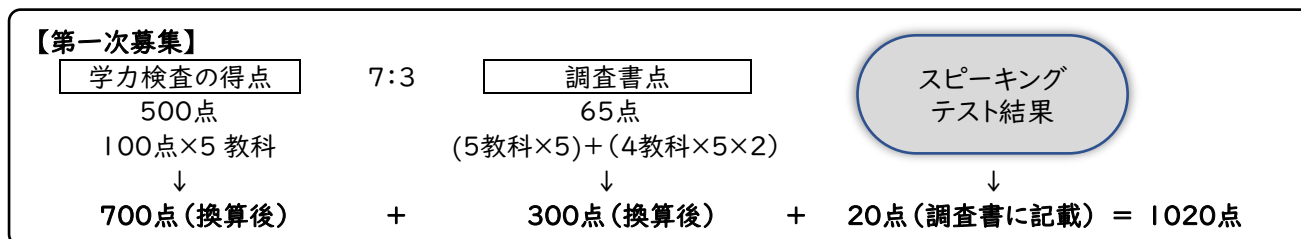
④評価の点数化について

都立高校では、AからFまでの6段階で提出された評価を、次の表のとおり、20点満点の点数として取り扱う。

スピーキングテスト結果(評価)	A	B	C	D	E	F
都立高校で取り扱う点数	20点	16点	12点	8点	4点	0点

⑤総合得点の算出について

都立高校では、学力検査の得点と調査書点の合計(1000点満点)にスピーキングテスト結果の点数を加え、総合得点を算出する。



⑥追試験について

受験者は本試日に受験することが原則だが、本試日にやむを得ない理由（病気・忌引等）で受験することができず、在籍中学校長が認め、かつ予備日申請により東京都教育委員会からの承認を受けた受験者は、予備日に追試験を受験することができる。

日程	追試験対象者の動き	中学校の動き
11月23日(日・祝)	・保護者が、「保護者用マイページ」にて欠席連絡を行う。 (11月21日(金)から24日(月)まで) ・診断書や証明書などを用意し、画像データ化する。	
11月26日(水)から 12月1日(月)まで	・「追試験受験申込書」を作成し、診断書や証明書と併せて中学校に提出する。 ・中学校から交付された「追試験受験申込書」の写しを画像データ化する。 (11月26日(水)から) ・「保護者用マイページ」で必要事項を入力し、追試験申請手続き、「追試験受験申込書」の写し及び診断書等の画像データをアップロードする。	・対象者が作成した「追試験受験申込書」に記載された内容等を確認し、公印を押印し、写しを保護者に交付する。 ・申請が承認されたか確認する。
12月1日(月) 午後5時まで	追試験申請締め切り日	
12月5日(金)以降	「保護者または生徒用マイページ」から受験票をダウンロードし、印刷し、試験当日持参する。	
12月14日(日)	追試験を受験	

⑦不受験者について

「仮のスピーキングテスト結果」を算出し、点数化の上、加点することで不利にならないよう取り扱う。ただし、以下の(i)に該当しない者がスピーキングテストを受験しなかった場合、「仮のスピーキングテスト結果」は算出せず、加点しない。

(i) 不受験者とは

都内公立中学校に在籍する者のうち、やむを得ない理由によりスピーキングテストを受験できない者又はできなかった者で、「都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請承認書」を都立高校へ提出した者

(ii) 算出方法

不受験者については、英語学力検査の得点により順位を決め、当該不受験者の上下5名ずつ（合計10名）以上の受験者を集計する範囲として定めることを基本とする。集計する範囲に含まれる受験者それぞれのスピーキングテスト結果を点数化し、その平均値により、当該不受験者の「仮のスピーキングテスト結果」を求める。その際、平均値が18点以上はA、14点以上18点未満はB、10点以上14点未満はC、6点以上10点未満はD、2点以上6点未満はE、2点未満はFとする。

(iii) 申請方法

「都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストの結果活用に関する措置申請書」を東京都教育委員会へ簡易書留郵便等で提出する。

(iv) 手続き期間

(第3次) 対象: ESAT-J YEAR3 の受験申込はしたが、本試験日に受験できず、かつ予備日の受験が困難であると判断される者

11月25日(火)から12月12日(金)

(第4次) 対象: ESAT-J YEAR3 の受験申込はしたが、本試日及び予備日ともに受験できなかった者

12月15日(月)から12月19日(金)

(3) 出願資格について

① 令和8年3月に中学校を卒業する見込みの者、中学校を卒業した者

② 保護者と同居し、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者

志願者が父母両方と都内に同居し、入学後も引き続き都内に同居することが原則

一時的に都内に住所を有し、入学後、都外に、志願者、保護者又は志願者と保護者が転居する予定のある場合には応募することができない

※「保護者」とは、本人に対し親権を行う者で、原則として父母のことをいう

※理由があって父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない場合等、②に合致しない場合も条件によっては出願可能

③ その他

(i) 推薦に基づく選抜の場合

・志願する都立高校を第1志望とする者

・令和7年12月31日現在、都内に所在する中学校に在籍しており、中学校長の推薦を受けた者

(ii) 学力検査に基づく選抜（第一次募集）

・入学願書受付までに都立高校推薦入試合格者ではない者

(iii) 学力検査に基づく選抜（第二次募集）

・入学願書受付までに都立高校推薦入試または都立高校第一次募集・分割前期募集の合格者ではない者

※『国私立高校に入学手続きを終えている生徒についても出願を遠慮すること』となっている。

※定時制第二次募集においては、分割後期募集・全日制第二次募集の選抜による合格者も出願できない。

(iv) 第三次募集、第四次募集

・入学手続き者数が募集人員に達しない都立高校は第三次募集、第四次募集を行う。

その際、必要な事項は別に定めとなっている。

(4) 受検上の配慮について

都立入試においては、必要な申請をすることで、次のような受検上の配慮を受けることができる。

① 障害のある受検者に対する配慮

(i) 学力検査受検上の配慮

検査問題の程度を変えない範囲で、検査方法、検査時間及び検査会場についての配慮があります。

基本的には中学校で定期考査の際に対応されている配慮と同程度のものです。

(例1) 問題・解答用紙の拡大

(例2) 記号選択式での受検

(例3) 補聴器やICT機器の使用

(例4) 介助者（代筆者、音読者などを含む）の同行

※特別支援学級や特別支援学校に在籍している生徒だけでなく、通常の学級に在籍している配慮が必要な生徒も申請することができる。

(ii) 選考の特例

現住所から通学至便な全日制又は定時制の都立高校を希望し、その他の都立高校に通学することが困難と認められる者については、志願した都立高校において個別面談を実施し、選考の際に個別面談点を付加する。学力検査等の実施は通常の受検者と同じ。

② 事故や病気等による学力検査実施上の配慮

検査日の直前に怪我をしたり、急な発熱などにより、通常の学力検査の方法で受検したりすることが困難な場合、検査時間及び検査会場について行う配慮がある。学力検査等の実施は通常の受検者と同じ。ただし、通常の検査方法では受験が困難と認められる者については、検査時間及び検査会場について適切な配慮を行う。

以上の配慮を希望する受検者は指定の様式を、在学する中学校長を経由して、令和7年12月19日(金)までに、志願する高校に提出する必要があります。書類作成、申請には時間を要するため、該当する可能性がある場合はなるべく早く中学校までご相談下さい。また、令和7年12月20日以降に②についての申請が必要になった場合などについても、直ちにご相談ください。

2. 私立高校の入試概要

【1】入試日程

私立高等学校の入試は、推薦入試・一般入試がある。推薦・一般共に、それぞれ都立高校の推薦・一般よりも早く行われる。多くの高校で、推薦入試は 1 月 22 日から、また一般入試は 2 月 10 日から始まる。なかには、一般入試の日程を分けて2回以上実施する高校もある。

私立高校	12/15～	1/22～	2/10～	
	★入試相談	推薦入試 ⇒ 合格発表	一般入試 ⇒ 合格発表	
都立高校		1/26・27	2/2	2/21
		推薦入試 ⇒	合格発表	一般入試 ⇒ 合格発表
				3/2

※私立入試の日程に関しては、必ず学校説明会や募集要項で確認すること。

※上記の日程以外で試験を実施する私立高校もある。(特に他県入試)

【2】入試の形態

一般的な私立高校の入試形態については下の表の通り。なお、これらの形態は高校によって名称が異なる場合や、このような形態をとらない場合もある。必ず学校説明会や募集要項で確認すること。

	種別	条件	★入試相談	検査
推薦入試	単願推薦	・ 第一志望であること ・ 所属中学校長の推薦があること ・ 受験校が示す基準に該当していること ※内申成績や出欠席状況などに基準がある	あり	面接や作文など
一般入試	単願 (第一志望優遇)	・ 第一志望であること ・ 受験校が示す基準に該当していること ※内申成績や出欠席状況などに基準がある場合がある	あり	学力試験 (優遇措置あり) 面接など
	併願 (併願優遇)	・ 他の高校が第一志望で、その高校が不合格だった場合、入学を約束すること (第一志望校が公立のみ可の学校もあれば、公立私立とも可の学校もある) ・ 受験校が示す基準に該当していること	あり	学力試験 (優遇措置あり) 面接など
	一般受験	基準等の条件なし	なし	学力試験

※学校によっては推薦入試や併願優遇入試において、基準に該当すれば出願はできるが、学力検査等によって合否が決まる学校もある。

★入試相談

入試相談では、推薦、第一志望優遇、併願優遇受験での入試を希望する生徒を対象として、中学校の教員と高校の教員があらかじめ基準等に関する確認をする。事前に入試相談をするにあたっては、学校長の承認の下で書類を作成する。そのため、中学校側に各種希望届を提出する必要がある。また、入試相談は12月15日から実施することとなっており、期間は高校ごとに設けられている。

【3】入試概要

(1) 単願推薦について

①推薦基準

中学校長が推薦を認めることが第一条件となり、このほかに高校の示す推薦基準に該当する場合に出願が認められる。推薦基準は高校ごとに異なるが、多くの高校で「内申成績（素内申の合計）」と「出欠席状況」で示され、これに該当しなければ出願が認められないことがほとんどである。

★推薦基準例 ※3科：国数英 5科：国社数理英 9科：すべての教科

「9科が32以上」「3科が11以上かつ5科が20以上」

「3科が11以上かつ5科が16かつ9科が27以上」「3科が14以上または5科が22以上」

※上記の基準に加え、「評定に1がないこと」などの条件がつく場合もある。英検・漢検・数検等の資格を有する場合、内申点に加点する高校もある。「出欠席状況」は、欠席日数や遅刻・早退について3年間の状況を見る高校もあれば、3年生での状況を見る高校もある。募集要項や説明会で確認すること。

②試験内容

主に面接と作文が中心だが、学力試験を実施する高校もある。

③ 出願までの流れ

- 1 担任へ希望を申し出る
- 2 「推薦願」の提出
- 3 校内で審査
- 4 所属中学校長の承認
- 5 入試相談
- 6 出願

※推薦入試には所属中学校長の推薦が必要。

(本校推薦基準についてはP.26を参照)

※推薦入試は、合格後に必ず入学することが条件。

※都立・私立の両方の推薦入試制度の利用はできない。

④ 備考

高等学校との事前相談の時点で、定員を大幅に超える場合、基準を満たしていても一般入試の扱いになることもある。

⑤その他の推薦入試制度（名称は高校により異なる）

特待生推薦	学業やスポーツ関連で特に秀でた力があると認められれば学費が考慮される。
自己推薦	中学校の推薦書に代わる書類提出で推薦を受け付ける。受験生、保護者が個別に相談に参加することが必要なことが多い。自分自身を推薦するために、成績や学力等を示す客観的材料が必要となる。
スポーツ文化一芸一能推薦	中学校内外での活動実績がある第一志望者が対象となり、中学校長の推薦書が必要となる。各種大会、コンクール実績、検定資格など、学力基準以外の要素が大きい。
特待生推薦	学業やスポーツ関連で特に秀でた力があると認められれば学費が考慮される。
自己推薦	中学校の推薦書に代わる書類提出で推薦を受け付ける。受験生、保護者が個別に相談に参加することが必要なことが多い。自分自身を推薦するために、成績や学力等を示す客観的材料が必要となる。
スポーツ文化一芸一能推薦	中学校内外での活動実績がある第一志望者が対象となり、中学校長の推薦書が必要となる。各種大会、コンクール実績、検定資格など、学力基準以外の要素が大きい。

(2) 一般入試について

【第一志望優遇】

受験する高校を第一志望とすることで、一般入試において優遇措置（加点等）が講じられる制度。

出願基準や入試相談の有無は、学校ごとに異なる。学力試験の得点をもとに選抜する高校が多いが、面接や作文、実技を行う高校もある。合格した場合、必ず入学する必要がある。

【併願優遇】

志望順位が上位である高校に不合格だった場合は必ず入学することを条件に、一般入試において優遇措置が講じられる制度。

① 出願基準

推薦受験と同様に、出願基準が示される。通常は推薦の基準よりも高く設定されている。

② 試験内容

学力試験の得点をもとに選抜する高校が多いが、面接や作文、実技を行う高校もある。

③ 出願までの流れ

- 1 担任へ希望を申し出る
- 2 「併願優遇願」を提出
- 3 校内で審査
- 4 所属中学校長の承認
- 5 入試相談
- 6 出願

※併願優遇制度を利用する場合、校内での手続きを経て入試相談が実施されるため「併願優遇願」の提出が必須となる。

④ 備考

- ・ほとんどの高等学校で、都立高等学校との併願に限り入学金の延納が認められている。
- ・推薦同様、合格の可能性は非常に高いが、一定の加点のみを行う学校もある。

【一般受験】

出願基準や入試相談はない。学力試験の得点等をもとに選抜する。面接が課される場合もある。

私立高校入試留意点

私立高校を選ぶ際、必ずその学校を見学するようにしましょう。併願校として受験する高校であっても、実際に3年間を過ごす可能性のあるところとして、慎重に選びましょう。受験校を確定する前に、説明会の参加や個別相談会へ参加し、入試制度の概要をしっかりと確認することが大切です。学校によって入試制度や出願条件、加点項目が異なります。高校と家庭との個別入試相談で、出願資格や出席日数などの条件について、個別に相談に乗ってくれる場合もありますが、その際は相談内容を担当者名とともに中学校側に報告してください。中学校側から高校に内容の確認を行う場合もあります。

【4】高等専門学校・企業内学校・高等専修学校・通信制高校とサポート校・就職について

高等専門学校（一般的に『高専』とよばれる）

工業に関する専門的な知識と実践的な技能を身につけることを目的とし、**5年間で卒業する学校**。
資格としては、3年間で高等学校卒業の資格、卒業時には**短大卒業と同じ資格が与えられる**。
卒業後に4年制大学の第3学年へ編入することもできる。

(例) 都内国立 1校 東京工業高等専門学校
都立 1校 都立産業技術高等専門学校
都内私立 1校 サレジオ工業高等専門学校

企業内学校

その会社に必要な専門教科、技術教科、実践的な技能等を学ぶ。
高等学校との提携により、高等学校卒業の資格を同時に取得できる学校もある。
給与が支給され、卒業後はその会社に採用される。全寮制の学校もある。

例) 日野工業高等学園(日野自動車、日野市)、トヨタ工業学園(トヨタ自動車、愛知県豊田市)など

高等専修学校（一般的に『専門学校』とよばれる）

専修学校のうち、中学卒業者を対象とした課程。
職業や実生活に必要な実践的な教育をおこない、専門知識や専門技能を身につけることに重点をおいている。
提携校との連携によって、高等学校卒業資格を得られる学校もある。
他の高等学校との併願が可能な学校もある。

※多種多様な専修学校がある。実際に学校見学などに参加し、その学校の内容や特色についてよく理解しておくこと。
※進学希望が固まり次第、担任や学年教員へ早めに申し出ること。入学定員に達すると受付を締め切る学校が多い。

通信制高校とサポート校

レポート提出や定められた日数の登校(スクーリング)により、高等学校卒業の資格を得ることを目指す。
通信制高校の中には、通信制高校の中で単位取得の支援を受けるためのサポート機能が充実している学校もあれば、通信制高校とは別に民間教育機関であるサポート校に別途入学が必要な学校もある。

※ 学校ごとに教育内容や卒業資格を得るまでの道筋、学費等が違うので、よく確認する必要がある。

就 職

ハローワークを通しての就職と、縁故(保護者や親類などからの紹介)による就職がある。
ハローワークを通じた就職の場合、希望職種、希望条件等を確認し、就職担当者が就職相談票を作成する。
求人票を見ながら希望する事業所を検討していく。

【入社までの流れ】

求職受理・職業相談→職場見学→応募事業所(1カ所)決定→応募書類提出→採用選考→入社

※就職を希望する場合は、ハローワークを通す場合も縁故の場合も、すみやかに担任や学年教員に申し出ること。
進学を希望しているが、希望通りにならなかった場合は就職したいという場合も、必ず申し出ておくこと。

3. 資料等

【1】本校の推薦基準について

上級学校の推薦受験における、本校の推薦基準は以下の通り。

小金井市立小金井第二中学校

校長 清水 裕徑

1 推薦受験にあたって

上級学校の推薦受験においては「学校推薦」という形になっていることが多く、その場合には、所属する学校長の推薦を受け、出願できるようになっています。学校長の推薦を受けるにあたっては、中学校内外での生活態度や中学校での学業成績、志願理由などを総合的に判断して、推薦生徒としてふさわしいということが認められなければなりません。

2 本校の推薦基準

- ①推薦を希望する学校を志願する理由や、入学後の目標が明確であること。
- ②「第一志望」で合格した場合は、その学校に必ず入学すること。
- ③基本的な生活習慣が確立しており、学校のルールをきちんと守っていること。
- ④授業に真剣に取り組む、学力の向上に励んでいること。
- ⑤上級学校（私立）が基準としている評定や欠席日数の条件を満たしていること。
- ⑥上級学校の求めている生徒像に見合っていること。

※推薦願の提出を受け、学年及び校内推薦委員会で基準を満たしているか審議したうえで、最終的に学校長が判断する。

3 その他の留意点

上記の推薦基準はすべての学校推薦に適用されます。

※私立高校におけるスポーツ推薦等にも、上記の推薦基準が適用されます。

調查書

①字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする。
②※印の欄には記入しない。

成績一覧表の番号	121	成績一覧表の提出の有無 (該当を○で囲む)	有・無
----------	-----	--------------------------	-----

海外帰国生徒対象等との区別 (△が該当を○が該当)	1 海外帰国生徒対象 2 引揚生徒対象 3 在京外国人生徒対象 4 独立産業技術高等専門学校
------------------------------	---

受検番号	コース・科(分野)・組
一般科	
文化・スポーツ等 特別課程	
理数・科学特別課程	
一般選抜 (常設組)	
一般選抜 (常設組)	

学籍の記録	フリガナ	シンジユク タロウ	性別	転入学等	年 月	編入学
	氏名	新宿 太郎				
	生年月日	平成20年 12月 6日生	入学年月日	令和6年 3月	中学校から転学	卒業見込

[illegible]

・図書委員として「図書だより」の作成を担当(第3学年)

・〇〇検定〇級を取得(第3学年)

記載事項に相違ありません。

昭和6年	1月	12日	記載者氏名	有葉 町子
			〔電話番号〕	
〔学校所在地〕				

新宿区西新宿2-8-1
03(5320)6755

シジユクチュウオウ

新宿区立新宿中央中学校

[学校番号]

304250

中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)結果

〔注意〕学校名にのみブリガナを付ける。〔学校番号〕は、都内公立の中学校のみ記入する。
〔学校番号〕は、東京都立高等学校入学者選抜実施要綱表10を参照すること。

自己PRカード

東京都立 _____ 高等学校長 殿 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 _____ 立 _____ 中 学 校
 氏 名 _____

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。)

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことを選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

(注意) 1 志願者が手書き又は電子ファイルへの入力及び印刷により作成する。手書きにより作成する場合は、黒のペン又はボールペンで記入する。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないこと。

なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。

2 推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志願する者は、この自己PRカードを出願時に提出する。また、面談の対象となる者、一般の学力検査における引揚生徒の受検についての措置又は定時制成人受検者特別措置により受検する者についても、出願時に提出する。

3 ※欄は記入しないでください。

【4】単願推薦、併願優遇願（昨年度の例）

◎都立高等学校 推薦願

【都立・一般推薦／文化・スポーツ・理数等特別推薦】
 小金井市立小金井第二中学校
 校長 清水 裕彦様

令和6年12月 日

都立高等学校 推薦願

私は、推薦入試の意義を深く理解し、以下の理由により都立高等学校一般推薦入学者選抜を受検したく、推薦書の作成をお願いいたします。

1. 推薦受検志望校・コース・科・部名
 ☆志望する同一の都立高校内に2コース、または同一の学科内に2科以上ある場合は、第2志望として他の1コースまたは、1科に限り指定することができます。第2志望がない場合は「なし」と記入してください。
 ☆文化・スポーツ等特別推薦の受検を希望する場合は、1科目を指定し記入してください。

東京都立	高等学校 高等専門学校（該当しない方を二重線で消す）
第1志望	コース 科・部
第2志望	コース 科・部
特別推薦 （種目名）	

2. 志望する理由（生徒本人が、敬体（～です・～ます）で記入します。）

中学校での活動実績：

確約書

本校在学中、推薦基準に則った学校生活を送ることに努め、合格した場合は、必ず志望校に進学し、以後の国公立・私立高等学校等の受検は辞退します。志望校入学後も小金井市立小金井第二中学校の推薦入学者としての自覚をもち、充実した高等学校の生活を送ります。

「本校の推薦基準」

①推薦を希望する学校を志願する理由や、入学後の目標が明確であること。
 ②「第一志望」で合格した場合は、その学校に必ず入学すること。
 ③基本的な生活習慣が確立し、学校のルールがきちんと守られていること。
 ④授業に真剣に取り組む、学力の向上に励んでいること。
 ⑤上級学校の求めている生徒像に見合っていること。
 ※推薦願の提出を受け、学年及び校内推薦委員会で基準を満たしているか審議したうえで、最終的に学校長が判断する。

☆提出の最終締め切りは、12月10日（火）（厳守）としますが、面談の日にはご提出ください。

3年 組 番 生徒署名 _____

保護者署名 _____ 印

◎第一志望優遇願

【私立・第一志望優遇】
 小金井市立小金井第二中学校
 校長 清水 裕彦様

令和6年12月 日

私立高等学校等 第一志望優遇願

私は、第一志望優遇制度の入試の意義を理解し、私立高等学校等第一志望優遇入学者選抜の受検を希望します。

★入試相談で第一志望優遇による受検を認められ、入試の結果、合格した際には、下記の高校に必ず進学することになります。

★この書類の提出を受けて入試相談の書類を作成するので、提出後は下記高校への志望を取りやめることはできません。

☆この用紙は、入試相談の資料に使用するもので、具体的に記入してください。

☆黒のボールペンで記入してください。書き損じた場合は、二重線で訂正し、訂正印を押印してください。

☆提出の最終締め切りは、12月10日（火）（厳守）としますが、面談の日にはご提出ください。

1. 第一志望優遇受検志望校 コース・科

私立	学校	科	コース
受験日	月	日	
加点に使用する内容 （漢検、部活動等）			
チャレンジ（スライド） 受験等制度の利用	あり ・ なし		

3年 組 番 生徒署名 _____

保護者署名 _____ 印

◎私立高等学校 推薦願

【私立・推薦】
 小金井市立小金井第二中学校
 校長 清水 裕彦様

令和6年12月 日

私立高等学校等 推薦願

私は、推薦入試の意義を深く理解し、以下の理由により私立高等学校等推薦入学者選抜を受検したく、推薦書の作成をお願いいたします。

1. 推薦受検志望校・コース・科・部名

私立	学校	科	コース
推薦の種類・呼称※1			
加点に使用する内容 （漢検、部活動等）※2			

※1 「推薦Ⅰ」「推薦Ⅱ」「A推薦」などの種類がある学校は必ず記入してください。
 ※2 加点に使用する内容がある場合は、必要な証書などを必ず提出してください。

2. 志望する理由（生徒本人が、敬体（～です・～ます）で記入します。）

中学校での推薦に値する活動実績：

確約書

本校在学中、推薦基準に則った学校生活を送ることに努め、合格した場合は、必ず志望校に進学し、以後の国公立・私立高等学校等の受検は辞退します。志望校入学後も小金井市立小金井第二中学校の推薦入学者としての自覚をもち、充実した学校生活を送ります。

「本校の推薦基準」

①推薦を希望する学校を志願する理由や、入学後の目標が明確であること。
 ②「第一志望」で合格した場合は、その学校に必ず入学すること。
 ③基本的な生活習慣が確立し、学校のルールがきちんと守られていること。
 ④授業に真剣に取り組む、学力の向上に励んでいること。
 ⑤上級学校（私立）が基準としている評定や欠席日数の条件を満たしていること。
 ⑥上級学校の求めている生徒像に見合っていること。
 ※推薦願の提出を受け、学年及び校内推薦委員会で基準を満たしているか審議したうえで、最終的に学校長が判断する。

☆提出の最終締め切りは、12月10日（火）（厳守）としますが、面談の日にはご提出ください。
 ★この用紙の提出を受けて入試相談や推薦書類等を作成するので、提出後の志望変更はできません。
 十分に検討の上、ご提出ください。

3年 組 番 生徒署名 _____

保護者署名 _____ 印

◎併願優遇願

【私立・併願優遇】
 小金井市立小金井第二中学校
 校長 清水 裕彦様

令和6年12月 日

私立高等学校等 併願優遇願

私は、併願優遇制度の入試の意義を理解し、私立高等学校等併願優遇入学者選抜の受検を希望します。

★入試相談で併願優遇を認められ、入試の結果、合格した際には、志望順位の上位の高校が不合格の場合、下記の高校に必ず進学することになります。

★この書類の提出を受けて入試相談の書類を作成するので、提出後は下記高校への志望を取りやめることはできません。

☆この用紙は、入試相談の資料に使用するもので、具体的に記入してください。

☆黒のボールペンで記入してください。書き損じた場合は、二重線で訂正し、訂正印を押印してください。

☆提出の最終締め切りは、12月10日（火）（厳守）としますが、面談の日にはご提出ください。

1. 併願優遇受検志望校 コース・科

私立	学校	科	コース
併願の種類	公立併願 ・ 私立併願 公立私立併願	受験日	月 日
加点に使用する内容 （漢検、部活動等）			
チャレンジ（スライド） 受験等制度の利用	あり ・ なし		

3年 組 番 生徒署名 _____

保護者署名 _____ 印

【5】 参考資料（東京都教育委員会ホームページより）

◎令和8年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱・同細目について

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/09/2025092502>



◎令和8年度東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ（日本語版）

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/high_school/exam/pamphlet2026_japanese



◎【特設ページ】中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/global/esat-j>



◎学力検査問題等

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/high_school/ability_test



◎令和7年度東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜で実施した小論文・作文、実技検査、集団討論のテーマ等一覧

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/high_school/ability_test/theme/2025



[illegible]

[illegible]